

先端都市建築研究部門

Division of Advanced Urbanism and Architecture

設置期間：2014年4月1日～2019年3月31日

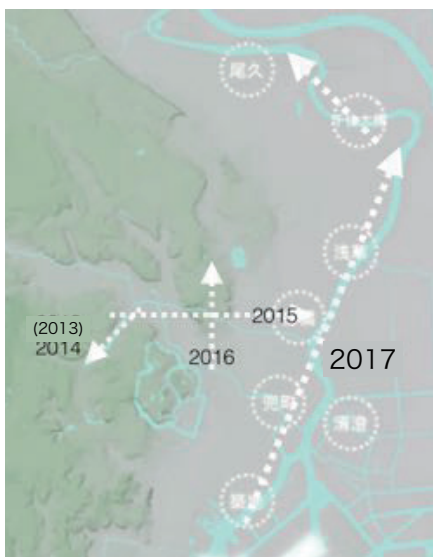
メンバー構成（2017年度）

(部門長)	工学部	建築学科	教授	宇野 求
(併任教員)	工学部	建築学科	教授	伊藤 裕久
	工学部	建築学科	教授	郷田 桃代
	工学部	建築学科	教授	高橋 治
	工学部第二部	建築学科	教授	河野 守
	工学部第二部	建築学科	教授	今本 啓一
	工学部	建築学科	准教授	熊谷 亮平
	工学部第二部	建築学科	准教授	栢木まどか
	理工学部	建築学科	教授	伊藤 香織
	理工学部	建築学科	准教授	安原 幹
	工学部	建築学科	助教	高 佳音
	工学部	建築学科	助教	石山さつき
	工学部	建築学科	助教	石樽 督和
	工学部	建築学科	助教	櫻井 雄大
(客員教授)	東京大学大学院		名誉教授	篠原 修

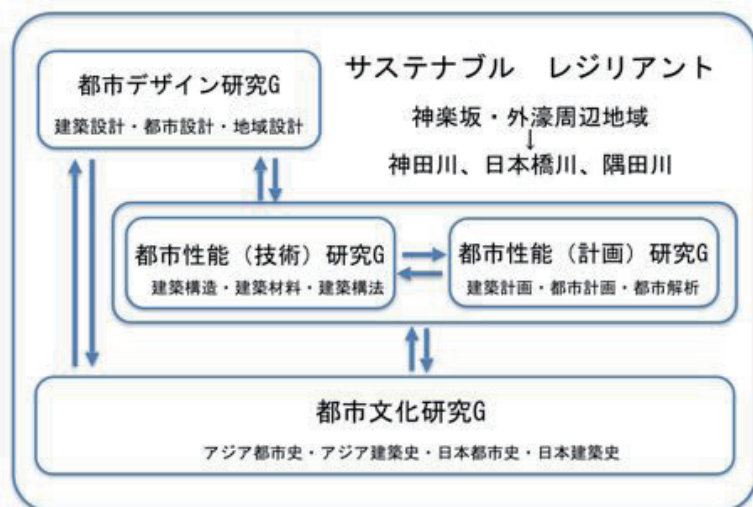
研究テーマ：

江戸東京の旧周縁・水辺地域における都市及び建築の更新手法に関する総合研究

研究目的：現代建築と都市基盤の更新によるサステナブル、レジリエントな都市環境の計画理論と計画手法の構築



調査研究対象地域の展開



研究体制の枠組：デザイン・技術・文化

2017年度 研究成果ハイライト① サステナブル



● 第8回 外濠市民塾 2017 0422

「外濠を遊ぶ 未来へつなげる地域の記憶と体験」世代、区境、大学をまたぐ
 拡大ワークショップ @DNPプラザ市ヶ谷、2017 0422 参加：千代田区町会・
 新宿区町会、大学(法政、理科大、中央、日大)、高校(三輪田学園)、70名



● シンポジウム「江戸城 外濠と文化」 2017 0725

基調講演、パネルディスカッション@ 東京ガーデンテラス紀尾井町、
 主催：「外濠水辺再生懇話会 メディア、IT、印刷、建設ほかの事業を展開する企業による
 地域貢献活動 理科大の「外濠及び神楽坂地域調査研究+地域貢献活動」紹介、100名



● 第3回 「外濠再生懇談会」 2018 0322

@法政大学 市ヶ谷田町校舎、今年度は、地域行政から千代田区、新宿区から担当課長もオブザーバーで、外濠に接する千代田区、新宿区の地域町会、地域団体、地域に拠点をおく
 企業、学校(大学、高校)ほか、が参加。各大学からの活動報告、地域の意見交換が続き活発な議論が交わされた 40名



図：地域・学・企業・官 / 地域連携の構図

2017年度 研究成果ハイライト② レジリエント



● 神楽坂「うを徳」実測調査 2017 03-05

神楽坂の料亭建築 実測調査を実施。終戦直後に建設され文化的価値のある伝統木造建築のアーカイブ化を目的
 として、図面化、モデル化を実施。

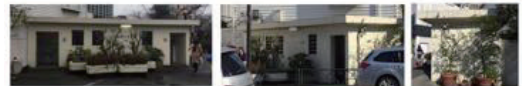


パブリックなオープンスペース

通行と滞留ができる外部の公共空間

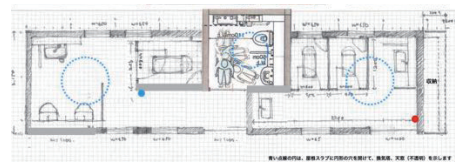


* 敷地、都市計画、建築構造、上下水道工事ほかの条件により 改修の可能性とコストが決まります。新街区の既出願との協議が必要です。



● 神楽坂地域研究の成果展示

理科大森戸記念館(神楽坂)1F、神楽坂おかみさん会展示コーナー
 2017 04- 理科大建築のメンバーによる神楽坂地域研究を、順次、パネル展示



● 牛込見附公衆便所 改修検討 2017 10-

東京オリンピック2020 マラソンコースの景観整備とまちづくりの
 相互作用を検討、建築学の専門知識、専門技術を備えた大学院生(女
 子)による「神楽坂文化振興倶楽部」の支援活動及び調査研究